

百十四銀行は、地震、津波等の影響を受けた中小企業、個人事業主の相談を受けるため、東北地方太平洋沖地震特別相談窓口」を設置した。融資、返済相談に、地域金融機関として迅速かつきめ細かな対応を行っていく。

夫婦で培った総合力で対応 二人三脚で顧客をサポート

あべ行政書士事務所 あべ社会保険労務士事務所



誠司さんは、「法学部を卒業してそのまま法律事務所に勤務した人とは違って、色々な職場を経験してきた。その強みを生かした色々なアドバイスができると思います。『チラシはどうしよう』なんて、土業以外の相談を持ちかけられることもしょっちゅうですよ。」と語る。

一方、妻の智子さんは、高松北高校から四国学院大学に進学し、卒業後は住宅メーカーで事務の仕事に就いた。結婚後は、ホームペーの製作、セミナー講師の仕事などに携わっていたが、派遣社員として登録中の平成20年に社労士試験合格。市内の社労士事務所へ勤めたのち、昨年1月に独立開業をしている。

「夫婦で同じ土業の仕事をしてるって珍しいですか？」と語るのは、高松市木太町で行政書士事務所と社労士事務所を開業する阿部夫妻。各種許可の申請代行は行政書士である夫、年金や労働問題は社労士である妻というように、夫婦で協力して運営している。

智子さんは「社労士は女性に向いている職業と言われます。適切なアドバイスをするためには、まず相手の話を聞かなければいけませんから、当たりの柔らかい女性に向いているのかも知れませんね。女性相談者からは『女性の方にお願います』

一麺入魂

成熟・濃厚・旨味スープ
こだわりラーメン

あぶらや

高松市松島町3-20-5
TEL.087-832-7588 国道11号線沿い

お二人とも独立開業して日が浅いので、スキルアップを図るために、智子さんは労働局並びに年金事務所に相談員として週数日詰めている。

誠司さんも4月から労働局の助成金アドバイザーとして勤務し、お互い情報収集に余念がない。

誠司さんは、「土業はどちらかというと1人で判断することが多いんですが、うちのように2人ですと、相談しながら進めていくことができそうです。普段テレビを見ているときでも、『このドラマの設定は労基法上おかしいね』とか話しています。職業病でしょうか。」と笑う。

と言われることも多いんです。正社員から契約社員、派遣社員まで様々な働き方を経験してきましたから、実体験を交えたアドバイスができるのも強みですね。」と語る。



夫婦で培った総合力でもって、これから創業をめざす若い人を応援したいと意気込みも熱い。

あべ行政書士事務所・あべ社会保険労務士事務所（高松市木太町二六六一） ☎〇八七一一八三七一七四九七

HP <http://absodan.web.fc2.com>

1階カフェがリニューアル
リーガホテルゼスト高松

リーガホテルゼスト高松（高松市日新町九一）は1階カフェをリニューアル。新業態のホテルカフェエッセイーツアルゴとして、カフェタイの営業を一新した。

店内はホワイトとブラウンを基調に、女性の来店を意識し洗練された仕立てへチェンジ。

街並みを望むカウンスター席、テーブル席あわせ54席。

7時〜10時は朝食バイキング、11時30分〜14時はランチバイキング。15時よりカフェ営業となる。

☎〇八七一一八三二一三五五五

高松信用金庫

ローン

の取扱い開始

賃貸アパート・マンション